

令和7年度ヨーロッパザラボヤ付着情報（第2報）

令和7年9月10日

発行：岩手県水産技術センター

協力機関：沿岸広域振興局水産部・宮古水産振興センター
三陸やまだ漁業協同組合

- ・ヨーロッパザラボヤの付着数は前回調査（7月）から大幅に減少しました。
- ・フジツボ類の幼生の採集数が急増しました。

<調査方法>

- 1 調査日：令和7年8月18日（前回調査：7月16日）
付着器投入期間：7月16日～8月18日（前回調査：6月13日～7月16日）
プランクトンネット曳網日：8月18日（前回調査：7月16日）
- 2 調査場所
・山田湾 大島南端 西微南480m付近
- 3 調査方法
・ザラボヤ等付着状況調査
ホタテガイ貝殻を使用した付着器を水深5m、10m、15mに3枚ずつ取り付けたロープを垂下し、1ヶ月ごとのヨーロッパザラボヤ（1mm以上）の付着数を計数。
付着器9枚（3水深×3枚）に付着した数を平均したものを平均付着数とした。
・フジツボ類幼生発生状況調査
北原式プランクトンネットを鉛直に20m曳網し、採集物の中からフジツボ類の幼生を計数。

<調査結果>

- ・ザラボヤ等付着状況調査
8月18日の水深5、10、15m層の水温は、表1のとおりでした。透明度は13m（7月16日：10m）でした。付着器のヨーロッパザラボヤの平均付着数は表2のとおりで、前回調査（18.1個体/枚）の16%まで減少しました。
- ・フジツボ類幼生発生状況調査
フジツボ類幼生は104個体で、7月16日（0個体）及び6月13日（1個体）から大幅に増加しました。
- ・その他
フジツボ類の付着器への平均付着数は112個体/枚でした（6月13日 0.3個体/枚）。

表1 5、10、15mの水温

	8月18日	7月16日
5m	24.7℃	20.0℃
10m	23.5℃	13.4℃
15m	22.5℃	12.2℃

表2 ヨーロッパザラボヤの平均付着数

	8月18日	7月16日
5m	0.3 個体/枚	11.3 個体/枚
10m	0.0 個体/枚	4.7 個体/枚
15m	8.3 個体/枚	38.3 個体/枚
平均	2.9 個体/枚	18.1 個体/枚



写真 付着器に付着したサンカクフジツボ
（赤味を帯び、ホタテの貝殻の溝に沿って付着）

お問い合わせ先
担当 増養殖部
電話 0193-26-7917